



「頂点へ挑む熱いシーズン」

2019 ARTA DIGITAL Rd.3 SUZUKA HOTTER THAN THIS ARCHIPELAGO







決勝のスタートが切られると、8 号車のスタートドライバーを務める伊沢拓也は 3 番手をキープしながら走るが、GT300 クラスの周回遅れが出てきたところで混雑に巻き込まれて 5 位に後退してしまう。

しかしペースは良好だった。エンジニアの星学文とともに落ち着いてレースを組み立てようとしていた。

星「後ろは6号車に代わりました」伊沢「了解、了解」



星「インパルよりペースが良いから頑張ろう。後ろはギャップ 2 秒で 1 号車」マシンの挙動を正確に感じ取る伊沢は、次にドライブする野尻智紀のために常にマシンの状態をアップデートしていく。 伊沢「デグナー 2 つめとヘアピン、シケインはフロントがすごくロックしやすいから気をつけて。 特にデグナー 2 つめは(前走車に)当たりそうになる」





星「これでちょうどウインドウオープン。SC 明けでピットインできることになります」 伊沢「今 12、1、8 号車って同じくらいのペース?」

星「そう、その3台はほぼ同じだね。その前の36、37、6がちょっと速いね」

伊沢「平均でどのくらい速い?」

星「1 秒弱くらい速いね」

伊沢「了解、それはちょっとキツいかな……」

結局、話し合いの末にセーフティカー明けの翌周にピットに飛び込むことに決まった。







一方 GT300 クラスの 55 号車は福住がスタートドライバーを務めて序盤から激しいバトルを展開する。

純粋な速さでは勝っているものの、ストレートの速い前走車達に対して抜き所の少ない鈴鹿では苦戦を強いられる。

福住「あぁ~、向こうの方がストレート速いな」

一瀬「前のクルマはタレてくるから大丈夫だよ。パワーが欲しいときはエアコンを切れ、エアコンを」

福住「了解」

しばらくはバトルを続けていた福住だったが、10周目あたりからブレーキの不調を訴え始めた。

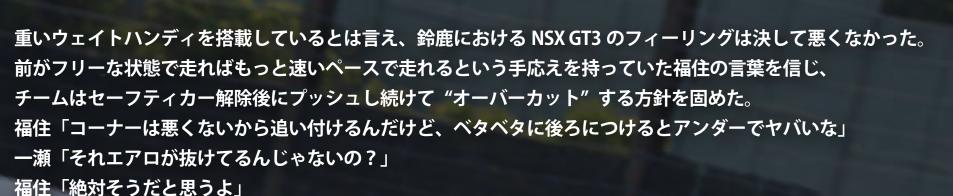
この暑さの中で前走車の背後にピタリとついて走っているがゆえにオーバーヒートし、制動力が失われてしまったのだ。



















一瀬「グッジョブ、グッジョブ!」

土屋「真一、頑張れよ!残り6周!」

そして最終ラップの最終シケインで2位のマシンがコースオフし、高木の目の前に戻って来た。

55

並びかけ、追い越しを仕掛けながらもつれ合うようにしてチェッカードフラッグ。

高木「どう!?」

土屋「真一、いま抜いた?抜ききってない?」

高木「抜いたような気がしたけどね」

一瀬「コントロールラインでは 0.02 秒足りなかった!」

高木「クッソぉ!」

僅かに届かず6位に終わったが、それでもウェイトハンディを考えれば充分なポイントを獲得し選手権2位に留まることに成功した。苦しい中でもダメージを最小限に抑える走りができたのは、シリーズタイトルという最終目標に向けて極めてポジティブなことだった。



⊜Castrol EDGE

CVSTOS

KENWOOD

1

ARTA





星「後ろは1号車で9秒。集中するのはもう前だけで良いよ」

上位の4台はペースがほぼ同じで差は広がりも縮まりもしない。後方から追い上げられることもない。

レクサス勢が圧倒的な速さを見せる中で、孤軍奮闘の8号車は4位でチェッカードフラッグを受けた。

星「お疲れ様、P4。よく頑張った!」

野尻「前はどうだったの?」

星「前もレクサス、後ろもレクサス」































THE "BIG RACE" FOR SUZUKI AGURI STARTED IN 1998 AS HIS VISION FOR THE FUTURE. OVER THE YEARS, IT HAS EVOLVED THROUGH THE TOUGHNESS AND WILL OF ARTA. IN THAT SPIRIT, ARTA IS RACING TO INSPIRE THE FUTURE OF MOTORSPORTS.





ARTA Project



ARTA DIGITAL You tube チャンネル

To Be continued next race...



©2019 ZEROBORDER INC. All rights reserved. No reproduction or republication

Director and Photographer: Masakazu MIYATA

Text: Mineoki Yoneya Design: Hiroaki KATAYAMA

Special Thanks: AUTOBACS SEVEN CO., LTD